

第三十二回

稚魚の会 合同公演

8月13日(木) 16日(日)

午前11時開演(午後2時30分終演予定)

主催 独立行政法人日本芸術文化振興会
松竹株式会社
協賛 一般社団法人伝統歌舞伎保存会



藤間勘十郎 振付 指導
寿式三番叟
三千翁 三番 叟 叟 歳
尾上 中村 尾上 尾上 尾上
菊太郎 菊太郎 菊太郎 菊太郎 菊太郎
長唄囃子連中

二世花柳壽楽 振付
花柳壽 楽 振付 指導
吾 指導

竹本連中

藤間勘十郎 振付 指導

清元連中

中村魁 春 監修 指導
中村芝 翫 監修 指導
中村歌女之丞 監修 指導

絵本太功記 一幕
尼ヶ崎閑居の場

武智十兵衛光秀
武智十次郎光義
嫁 初 菊
佐藤虎之助正清
母 皐 月
妻 探
旅 真 築 前 守 久 吉
尾上 松三
坂東 三光
片岡 彌市
中村 音幸
中村 隼之助
坂東 家之助
中村 扇五郎



(姓名の五十音順)



早稲田大学演劇博物館所蔵

■ご観劇料(全席指定)
1等席 7,000円 (学生4,900円)
2等席 5,000円 (学生3,500円)
3等席 3,000円 (学生2,100円)
※障害者の方は2割引です(他の割引との併用不可)。車椅子用スペースは、国立劇場チケットセンターに電話予約の上ご購入ください。
※インターネットでも学生料金・障害者割引による申し込みが可能です。

■予約開始 6月18日(木) 午前10時~
※残席がある場合、公演会場にて当日券のみ販売いたします。
当日券窓口=午前10時~開演まで

【電話】
国立劇場チケットセンター(午前10時~午後6時 7月1日水休業)
0570(07)9900/
03(3230)3000(一部IP電話等)

【インターネット】
国立劇場チケットセンター 検索

【プレイガイド】 チケットぴあ <https://t.pia.jp/> E+(イープラス) <https://eplus.jp/>



会場：浅草公会堂

National Theatre, Tokyo Presents
Kabuki Performance by Chigyo-no-kai & Kabuki-kai
August 13-16, 2026 at 11 a.m. Asakusa Public Hall

※客席ではご飲食いただけません。またロビーでの飲食スペースは限られておりますので、あらかじめご了承ください。

Booking Opens on June 18
Ticket Office 0570-07-9900 (10:00 a.m.-6:00 p.m. except on July 1)
https://ticket.ntj.jac.go.jp/top_e.htm

稚魚の会・歌舞伎会

合同公演

国立劇場は昭和四十五年から歌舞伎俳優の研修を実施してまいりました。現在までに二十九期の修了者を送り出し、数多くの俳優が歌舞伎の世界で活躍しています。国立劇場の研修修了者により発足した「稚魚の会」、そして幹部俳優に直接入門した名題・名題下俳優を中心とする「歌舞伎会」の両会は、日頃の修練の成果を発揮する場として、毎年八月に、合同公演を開催しており、今年で三十二回目を迎えます。半蔵門の国立劇場の再整備による閉場に伴い、浅草公会堂に会場を移して、今年で三年となりました。多くのファンの皆様のご支援に支えられ、本年も夏の浅草で、熱い舞台をお届けいたします！

寿式三番叟

能楽の「翁」は特別な格式のある曲です。その「翁」を題材とした歌舞伎舞踊の「三番叟物」は、華やかな祝儀曲として上演されてきました。数ある「三番叟物」の中でも本曲は国土安穩・五穀豊稔を祈り、荘重な雰囲気を持たえます。敵かな翁の舞、優美な千歳、そして二人の三番叟による躍動感のある踊りと、見どころに溢れる一幕で今年の合同公演が幕を開けます。

団子売

本曲は人形浄瑠璃(文楽)で初演された作品で、現在では文楽・歌舞伎双方で上演されています。お客様の目の前で団子をついたり丸めたりして市中を練り歩いた団子売りの姿は、江戸の庶民の間ではおなじみの風景でした。ひなびた手踊りや、おかめ・ひょうとこのお面を付けてのおどけた振りなど、仲の良い団子売り夫婦の姿を描いた、明るく楽しい作品です。

三社祭

三社祭は現在毎年五月に行われている浅草神社の例大祭。作品に登場する武成と浜成も、浅草神社の草創に所縁のある人物です。浅草にほど近い宮戸川のほとり、漁に精を出す二人に怪しい玉が落ちてきて二人に乗り移り、悪玉と善玉になります。悪尽くし・善尽くし、見世物の曲芸を模した玉尽くしの踊りなど、跳躍感のあるテンポの良い踊りが見どころの当り地ゆかりの人気舞踊です。

絵本太功記

尼ヶ崎閑居の場

本能寺で織田信長を亡ぼした明智光秀の「三日天下」を題材に、一日一段、全十三段で構成された本作は、寛政十一(一七九九)年に大坂で人形浄瑠璃として初演され大評判となり、翌年には歌舞伎でも上演されました。十段目(十日目)にあたる「尼ヶ崎閑居の場」は全編のクライマックスともいえる名場面で、文楽・歌舞伎いずれもで頻繁に上演されています。本能寺で主君尾田春永(織田信長)を討ち果たした武智光秀(明智光秀)。しかし、光秀の謀反を許さない母の早月は尼ヶ崎に隠れ住んでいました。光秀の妻の操と息子十次郎の許嫁の初菊は、見舞いに訪れています。そこに十次郎が、真柴久吉(羽柴秀吉)との戦に出陣することを報告しにやってきました。十次郎の決死の覚悟に、早月と操は初菊と祝言を挙げさせた上で、十次郎を戦場に送り出します。やがて、潜んでいた敵の中から光秀が姿を現します。一夜の宿を借りた謎の旅僧は久吉が変装した姿であると見抜いていた光秀は、風呂場にいる久吉に竹槍を突き刺します。しかし、姿を現したのは、久吉ではなく母の早月でした……。登場人物が多彩で、立役・女方とも代表的な役柄が揃うため、歌舞伎俳優研修のカリキラムで必ず履修する作品の一つです。義太夫狂言屈指の大作に、若手俳優たちが全力で挑みます。夏の暑さを吹き飛ばす熱演を、是非ともお見逃しなく！

10月1日より研修生募集開始！ 令和9年度開講

国立劇場養成所では、伝統芸能を未来へつなぐ若者を募集しています。

歌舞伎俳優・歌舞伎音楽(長唄)・文楽

受講料無料・奨励費貸与制度有・宿舎有(審査有・有料)

お問合せ: 国立劇場養成所 TEL 03(3265)7105

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.ntj.jac.go.jp/training/trainee.html>



浅草公会堂 Asakusa Public Hall

●東京メトロ銀座線 浅草駅(1番・3番出口) 徒歩5分 ●都営浅草線 浅草駅(A4出口) 徒歩7分
●東武鉄道 浅草駅(北口) 徒歩5分 ●つくばエクスプレス 浅草駅(A1出口) 徒歩3分



伝統芸能を未来につなぐ **くろごちゃんファンド**(国立劇場基金)
~国立劇場各館の事業に 皆様のご支援をお願いいたします~

お問合せは▶ 03(3265)6719

明日を担う伝承者の養成を共に支える

国立劇場養成所サポーター募集中

継続的なご寄附によって、研修生たちの成長をご支援いただく「サポーター」の皆様を募集しています。

お問合せ: 国立劇場養成所 TEL 03(3265)7105

コース一覧	
一般会員A	月額 1,000円/月
一般会員B	月額 3,000円/月
賛助会員	月額 10,000円/月



(詳しくはこちら)